

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、技術の知識や問題解決の技能を取り上げた『技術のとびら』や『TECH Lab』などが掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、着目する視点を例示した『問題解決カード』というワークシートや『チェック 技術の見方・考え方』という項目が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の中で利用されている技術を取り上げた『技術の匠』や『技術の工夫』が掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、福祉に役立つ機構モデルを取り上げた『自動車の乗降装置』の問題解決例が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルの必要性を事例として取り上げた『安全に利用するための情報モラル』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、『これからのエネルギー変換の技術について考える』などの技術の未来を取り上げた『未来のTechnology』ワークシートが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『学校の机や椅子などの技術の工夫を見つけよう』において、話し合う学びの例を取り上げた『活動』という項目が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各編最初のページに『理科3年 力学的エネルギー』など教科名と単元名を示した『他教科とのつながり』や、『他教科』のマークが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、『まとめと発表の仕方』において学習内容をまとめる『ポイント』が例示されている。また、ワークシートの記入例として『問題解決カード』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、熊本城など伝統文化に関連する写真やコラムを取り上げた部分には『伝統文化』マークが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、基本題材や参考題材を配列し、体験的な活動を例示した『問題解決例』が掲載されている。基礎的な実習例や実験例を示した『活動』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、関連する内容に『理科4年 電流の働き』など、学習学年や単元名が取り上げられ、『小学校』マークが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報の特性に関連する内容を取り上げた情報モラルの節が構成されている。プログラミングの基本操作を例示した『プログラミング手帳』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、学習の見通しを示した『目標』や関連する『キーワード』が掲載されている。また、節ごとに『まとめよう』が掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の導入に『目標』と『技術室にはどのような工具があるか調べよう』などの導入例を示した『考えてみよう』『調べてみよう』が掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動について、体験的な活動を通して取り組む課題を取り上げた『活動』マークが掲載されている。ワークシート例が『問題解決カード』として掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、技術の見方・考え方を例示した『最適化の窓』が掲載されている。見方・考え方に関するコメントを取り上げた『ミカタン』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を解決する力を養う学習過程について、問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの過程を取り上げた『問題解決カード』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 各編の1章が原理・法則としくみ、2章が問題解決、3章が社会の発展と技術に関する内容などで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適用するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-10)を参照。

発行者の略称	教図	書名	New技術・家庭 技術分野 明日を創造する New技術・家庭 技術分野 明日を創造する技術ハンドブック
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各編の1章では導入題材例において繊維方向による強度の違いなどの原理・法則を例示した『しくみの理解』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、設計を4ステップで表した問題解決の考え方を例示し、実習をプラス面、マイナス面から取り上げた『やってみよう』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各編の最後に社会の中の技術の発展と課題を取り上げた『編のまとめ』問題が掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、全編を通して多様性を認め合う項目や他者との共生に関する項目を取り上げた『共生』マークが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報化社会における情報のプラス面やマイナス面が例示された『情報モラルと情報の扱い方』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、『Society5.0』による未来社会を考察する活動や、社会で活躍する人々を取り上げた『特集→Technology』が掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、対話的な学びの例が取り上げられ、『やってみよう』という項目には『友だちからのコメント記入欄』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科との関連を取り上げた『リンク』マークが掲載されている。巻末の資料には、都道府県別の博物館が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、設計に関して『構想図』などの図を記入するワークシート『設計計画表にまとめよう』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化や社会の技術に関連する技術者を取り上げたコラム『スゴ技』や『技ビト』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、1章『不思議な本立て』という導入題材、2章で『調味料ホルダー』という基本題材などの体験活動を例示し、図や写真を用いた実習例が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各章の冒頭に『リンク』マークが記され、『小学校・算数、図画工作』などが記載されたり、高等学校での実習例などが掲載されたりしている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、個人情報発信などで起こる問題を課題とした『やってみよう』が掲載されている。別冊『技術ハンドブック』にプログラミングの基礎技能が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、学習の見通しを示したキャラクターのコメントや、『めあて』が掲載されている。自己評価を取り上げた『ふり返る』が掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の導入に『めあて』が掲載され、また、学習の流れが『見つける』『学ぶ』『ふり返る』の3ステップで例示され、それぞれのマークが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動について、実践的に画面のデザインを考える活動などを例示した『やってみよう』や『つくってみよう』の項目が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、社会で使われている技術のプラス面、マイナス面の両面について取り上げた『技術のプラス面とマイナス面』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を解決する力を養う学習過程について、『問題を発見する』や『構想を具体化する』などの4つのステップを例示した問題解決の『設計の手順』やワークシート例が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 各編の1章は知識・技能の習得に関すること、2章は設計・計画に関すること、3章は社会の技術を評価することに関する内容で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、技能を掲載した別冊『技術ハンドブック』とともに、A4変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-10)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、実験方法を記載し、体験的に身に付くように拡大写真や連続したイラストを例示した『動作のポイント』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、それぞれの過程での考え方を取り上げた『問題解決の流れ』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の中の技術や技術の在り方、活用方法などの課題について取り上げた『参考』や『豆知識』が掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、福祉の問題を解決する例を取り上げた『介助用ロボットコンテストを考えた設計-』の実習例が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報化社会で情報を発信するときのモラルが例示された『情報を発信するときに注意する視点』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、今までの技術の歴史と社会との関わりが取り上げられた『技術の工夫・創造と私たちの未来』が掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、対話的な学びの例を取り上げた『調べてみよう』や『考えてみよう』、『話し合ってみよう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、関連する教科と単元を取り上げた『中学校他教科との関連』や『他教科』マークが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、工程表の書き方を例示した『ミニ植物工場の制作工程表』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、歴史年表が取り上げられ『技術に関するおもな歴史』が掲載されている。伝統的な技術を取り上げた『受け継がれ発展する技術』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実践的・体験的な実習例を示し、『問題解決の手順』や『一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック』などの実習例が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各編の導入や項目ごとに学年や単元名を取り上げた『小学校との関連』や『小学校』マークが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、『情報を発信するときに注意する視点』が掲載されている。また、巻末資料には、プログラミングの基本操作が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、考えるポイントを例示したキャラクターのコメントが掲載されている。節の最後には、自己評価について取り上げた『ふり返り』が掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の導入に『学習の目標』が掲載され、また、導入例として、学習内容についての問いかけを取り上げた『調べてみよう』や『考えてみよう』が掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動について、知識の理解に関する『実験』が掲載されている。また、実習例に学習過程を例示した『問題の発見』や『評価・改善』などが掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、ガイダンスには、『工夫』『技術のしくみ』『科学的な原理・法則』の視点から電気ストーブを例に、『技術の見方・考え方』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を解決する力を養う学習過程について、製作者の意図が取り上げられた『いすに込められた工夫の例』が掲載されている。学習過程を例示した『問題解決の流れ』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 各編の1は生活と社会の技術、2は問題解決、3はこれからの技術に関する内容で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるようなデザイン上の配慮をしています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く『知識・技能』を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、各編には関連する技術の知識について取り上げた『技術のとびら』が掲載されている。また、問題解決に必要な実践的な技能を取り上げた『TECH Lab』が掲載されている。
教図	「知識・技能」の習得について、1章では、導入題材例『不思議な本立て』において繊維方向による強度の違いといった原理・法則が取り上げられた『しくみの理解』が掲載されている。実習に必要な技能の工具の使い方などを取り上げた別冊『技術ハンドブック』が設定されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、原理・原則を体験的に取り組めるように例示した『実験』マークが掲載されている。また、技能の注意点を取り上げた図では拡大写真を用いたり、『動作のポイント』としてイラストで動きが掲載されたりしている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各編の2章には、着目する視点を例示した『問題解決カード』というワークシート例や『チェック 技術の見方・考え方』という項目が掲載されている。
教図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各編2章では、設計を4ステップにまとめた問題解決の考え方を取り上げた『設計の手順』が掲載されている。各編3章では、実習した技術についてプラス面、マイナス面について取り上げた『やってみよう』が掲載されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各編2章の導入に問題の発見から評価・改善までのそれぞれの過程での考え方や検討する内容を取り上げた『問題解決の流れ』が掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各編導入に社会の中で利用されている技術を取り上げた『発見！技術の最適化』や『技術の匠』、また各ページ下部に『技術の工夫』が掲載されている。
教図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各編の導入で技術の発展例を示したり、編末で技術の発展について問う『編のまとめ』が掲載されている。また、各編3章では、社会の中の技術のプラス面、マイナス面、両面の例が掲載されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の中の技術について紹介し、技術の在り方や活用の方法などの課題を取り上げた『参考』や『豆知識』が掲載されている。また、編末問題では、考えを深める問題を例示した『学びを深めよう』が掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「人権教育」について、エネルギー変換の技術を利用した問題解決例として、福祉に役立つ機構モデルを取り上げた『自動車の乗降装置』が掲載されている。
教図	[思いやる力]の「人権教育」について、『情報の技術により便利になった例』など全編を通して、多様性の認め合いや他者との共生に関する項目を取り上げた『共生』マークが掲載されている。
開隆堂	[思いやる力]の「人権教育」について、福祉の問題を解決するエネルギー変換の技術を利用した実習例として、『介助ロボットコンテストを考えた設計-』が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルを事例として取り上げた『安全に利用するための情報モラル』では『情報検索の便利な点と注意すべき点』が掲載されている。
教図	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報化社会における『情報モラルと情報の扱い方』の項目で、情報のプラス面とマイナス面を比較しながら例示した『情報モラルを考えた情報の扱い方』が掲載されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「情報化」について、『情報モラル』の節では、情報化社会で情報を発信するときの周囲に与える影響を取り上げた『情報を発信するときに注意する視点』が掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、各編の最後にこれからの技術の資料を取り上げた『これからのエネルギー変換の技術について考える』などを例示した『未来のTechnology』ワークシートが掲載されている。
教図	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、『Society5.0』による未来社会を考察する活動や、社会で活躍する人々を例示した『特集→Technology』や『技ビト』が掲載されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、『電話機の発展と技術にかかわる態度』などで社会の中での技術の役割や主体的に関わる態度を例示した『技術の工夫・創造と私たちの未来』が掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、『学校の机や椅子などの技術の工夫を見つけよう』において、話し合う対話的な活動を取り上げた『活動』が記載されている。キャラクターが対話することで設計要素を検討できるように例示した『問題解決例』が掲載されている。
教図	主体的・対話的で深い学びについて、『やってみよう』では、『自分が設計をして製作をした作品を、グループで発表しよう!』の中で対話を例示した『友だちからのコメント記入欄』が掲載されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、各節の冒頭では、導入課題として例示した『調べてみよう』や『考えてみよう』、『話し合ってみよう』という項目が掲載されている。技術の最適化の例などが『参考』として掲載されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、各編最初のページに『理科3年 力学的エネルギー』など教科名と単元名を示した『他教科とのつながり』が掲載されている。また、関連を示した『他教科』のマークが掲載されている。
教図	カリキュラム・マネジメントについて、『1 材料の技術と加工の技術を見つけよう』では『中学校・保健体育、理科』との関連が例示された『リンク』マークが掲載されている。巻末資料には、都道府県別の博物館が掲載されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、各編最初のページにその編の中にある『中学校他教科との関連』がまとめて記載されている。また、『理科 身の回りの物質とその性質』など、他教科との関連に『他教科』マークが掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、ガイダンスの『技術分野の学習方法』では、『まとめと発表の仕方』において学習内容をまとめる『ポイント』が例示されている。ワークシートの記入例として『問題解決カード』が掲載されている。
教図	言語能力の育成について、巻末資料に設計に関して『構想図』などの図を記入するワークシート『設計計画表にまとめよう』が掲載されている。
開隆堂	言語能力の育成について、『アクティビティ図』や部品の取り付け位置に吹き出しをつけた図について取り上げた『ミニ植物工場の制作工程表』が掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、新国立競技場や熊本城など伝統文化に関連する写真や『技術の匠』といったコラムで伝統文化について取り上げた『伝統文化』マークが掲載されている。
教図	伝統や文化に関する教育の充実について、『からくり人形と設計図』が取り上げられて『伝統文化』マークが記載されている。また、コラム『スゴ技』『技ビト』では、法隆寺の建築技術など伝統文化や社会の技術について解説されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、各編導入では、技術の年表が取り上げられ『技術に関するおもな歴史』が掲載されている。また、ガイダンスでは、『受け継がれ発展する技術』について、巻末資料では、各都道府県の伝統的な技、材料、工芸が掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、『リモコンラック』や『絵本ラック』など基本題材や参考題材など、体験的な活動を例示した『問題解決例』が掲載されている。基礎的な実習例や実験例が示された『活動』が掲載されている。
教図	体験活動の充実について、各編では、1章『不思議な本立て』という導入題材、2章で『調味料ホルダー』という基本題材などのように1章、2章において体験活動を例示し、図や写真を用いた実習例が掲載されている。
開隆堂	体験活動の充実について、各編の2章では、実践的・体験的な題材が例示され、『問題解決の手順』や『一枚の板で製作する机の上を整理・整頓できるマルチラック』などの実習例が掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、関連する内容に『理科4年 電流の働き』など、学習学年や単元名が取り上げられた『小学校』マークが掲載されている。各編導入では、『小 理科3～6年』のようにまとめて記載されている。
教図	学校段階間の円滑な接続について、各学習項目の冒頭のところに『リンク』マークが記され、『小学校・算数、図画工作』など関係する教科が記載されている。B編では、高等学校での実習の様子が掲載されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、各編導入に教科、学年、単元名が取り上げられた『小学校との関連』が掲載されている。また、関連する内容には、『6年 電気の利用』と取り上げられ、関連が『小学校』マークで記載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、『情報検索の便利な点と注意すべき点』などの情報の特性に関連する内容を取り上げた情報モラルの節が構成されている。巻末付録『プログラミング手帳』にScratch、ドリトル、JavaScript+HTMLの例が掲載されている。
教図	情報活用能力の育成について、D編の1章に、個人情報の発信など情報の扱い方で起こりうる問題を課題とした『やってみよう』や情報モラルのプラス面、マイナス面の両面が掲載されている。また、プログラミングの基礎技能にScratch、なでしこ、ドリトルの例が掲載されている。また、別冊『技術ハンドブック』にプログラミングの基礎技能が掲載されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、情報を発信するときに注意する事例などを例示した『情報を発信するときに注意する視点』などが記載されている。また、巻末の『資料プログラミング』にScratch、ドリトルの基本操作の例が掲載されている。

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、節の冒頭部分には、学習の見通しを示した『目標』や、関連する『キーワード』が掲載されている。節の最後には、『まとめよう』や『自己評価』が掲載されている。
教図	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、各節には、冒頭部分に学習の見通しを示した、『めあて』と節の最後に『振り返る』が対応して掲載されている。問題の発見のしかたや工夫の例などを考えるポイントを取り上げたキャラクターのコメントが掲載されている。
開隆堂	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、考えるポイントを例示したキャラクターのコメントが記載されている。節の最後などには『振り返り』を配置し、自己評価ができるように設定されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	学習の導入に『目標』と『技術室にはどのような工具があるか調べましょう』などの導入例を示した、『考えてみよう』や『調べてみよう』、『話し合ってみよう』、『やってみよう』が掲載されている。
教図	学習の導入に『めあて』が掲載され、また、学習の流れが『見つける』、『学ぶ』、『振り返る』の3ステップで例示され、それぞれのマークが掲載されている。基礎技能を例示した『別冊ハンドブック』が構成されている。
開隆堂	学習の導入に『学習の目標』が掲載され、また、導入例として、学習内容について『身の回りの製品は、じょうぶにするためにどのような工夫がされているだろうか』などを取り上げた『調べてみよう』や『考えてみよう』が掲載されている。
⑯ 実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	実践的・体験的な活動について、『活動 必要な工具や加工方法を考えて、加工体験をしよう』などで『活動』マークが掲載されている。ワークシート例が取り上げられ、『問題解決カード』として掲載されている。
教図	実践的・体験的な活動について、『解答者の画面デザインしよう』などの活動を例示した『やってみよう』や、各編の2章では、実習を進める際に必要な作業手順が『つくってみよう』として掲載されている。
開隆堂	実践的・体験的な活動について、『実験 金属の性質』などで、体験的な活動を通して知識を習得する題材が設定されている。各編の2章の実習例では、思考力・判断力・表現力等の育成のため『問題の発見』や『評価・改善』などの学習過程があわせて記載されている。
⑰ 「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	
東書	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、ガイダンス資料に技術の見方・考え方が示された『最適化の窓』が掲載されている。また、ヒントとして『ミカタン』の『環境への負荷についても考える必要があるよ』など関連するコメントが掲載されている。
教図	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、各編の3章（D編は4章）では、技術のプラス面、マイナス面の両面の例を資料として取り上げた『技術のプラス面とマイナス面』が掲載されている。
開隆堂	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、ガイダンス資料には、電気ストーブを例に『工夫』や『技術のしくみ』、『科学的な原理・法則』から説明している『技術の見方・考え方』が、見開き2ページで掲載されている。
⑱ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
東書	課題を解決する力を養う学習過程について、学習過程を『問題の発見、課題の設定』『設計・計画』『製作』『評価、改善・修正』『新たな問題の発見』に分類して取り上げられた『問題解決カード』が掲載されている。
教図	課題を解決する力を養う学習過程について、『問題を発見する』『目的や条件をもとに構想を考える』『構想を具体化する』『設計をまとめる』の4つのステップを例示した『設計の手順』が掲載されている。また、巻末資料に『設計計画表にまとめよう』というワークシートが付けられている。
開隆堂	課題を解決する力を養う学習過程について、製作者の意図がインタビュー形式で取り上げられた『いすに込められた工夫の例』が掲載されている。各編2章1節には、問題解決の手順について例示した『問題解決の流れ』が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 章が原理・法則としくみ、2 章が問題解決、3 章が社会の発展と技術に関する内容で構成されている。
教図	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 章はつくって・育てて学ぶこと、2 章はじっくり学ぶこと、3 章は学びを深め生かすことに関する内容で構成されている。
開隆堂	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 は生活と社会の技術、2 は問題解決、3 はこれからの技術に関する内容で構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型は A B 判が採用されている。
教図	判型は、技能を掲載した別冊『技術ハンドブック』とともに、A 4 変型判が採用されている。
開隆堂	判型は A B 判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適用するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教図	『ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されています。』と表記されている。
開隆堂	『カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるようなデザイン上の配慮をしています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載

東書	68ページ 寄木細工（箱根町） 109ページ 三浦大根 156ページ 蒸気機関車（新橋－横浜間で運行） 194ページ 学校に設置された蓄電池（横浜市）、自転車や電気自動車の共同利用（横浜市） 221ページ 市民の困りごとをチャットボットで解決（横浜市職員）
教図	19ページ マンホールのふた（横浜市） 35ページ 日本の伝統技術－箱根寄木細工－ 91ページ 神奈川県の栽培漁業（水産技術センター） 91ページ 都市農業の風景（横浜市） 110ページ 「水産生物を育てる技術」（神奈川県立海洋科学高等学校） 150ページ 太陽光パネル（川崎市） 267ページ 「はやぶさ2」（相模原市） 285ページ 「先輩からのメッセージ 水産」（神奈川県立海洋科学高等学校） 裏表紙の裏④ページ 「博物館に行ってみよう！」（神奈川県 神奈川県立歴史博物館、東芝科学未来館）
開隆堂	119ページ 三浦ダイコン 156ページ 「子どもの目の発達に配慮したLED照明 体育館への導入例」（川崎市） 179ページ ソーラーカー（平塚市の工科高校） 195ページ 電信サービスの開始（東京－横浜間） 294ページ 「日本各地の伝統的な技・材料・工芸Map」箱根寄木細工（神奈川県）

② URL、二次元コード等の掲載の有無

発行者名	別冊				
東書	有				
教図	有	有			
開隆堂	有				

③ 一冊ごとの重量(g)

発行者名	冊数	別冊			
東書	1	602			
教図	2	618	108		
開隆堂	1	557			